

長崎県看護協会 会報

発行所 公益社団法人 長崎県看護協会
〒854-0072 長崎県諫早市永昌町23番6号
TEL (0957)49-8050(代) FAX(0957)49-8056
発行責任者 西村伊知恵
印刷 株式会社インテックス



Nagasaki Nursing Association

令和4年度 通常総会 三職能職能合同交流会報告	2~3	地区支部だより	6~7
災害支援ナース交流会	4	病院紹介 十善会病院	8
2022看護への道フェア	5		

看護理念

「患者・ご家族様一人ひとりの心に寄り添った看護」



令和4年度
公益社団法人
長崎県看護協会

通常 総会



と き

令和4年6月18日(土)

場 所

本会場 ながさき看護センター

支部会場 長崎県五島中央病院、長崎県上五島病院、長崎県杵岐病院、長崎県対馬病院



公益社団法人長崎県看護協会
会長 西村 伊知恵

3つの重点目標

- 1 地域包括ケアを支える看護の役割推進
- 2 健康で安全に働き続けられる職場づくりの推進
- 3 質の高い看護を支える生涯学習の推進

通常総会を終えて

会員の皆様におかれましては、日頃より看護協会活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

6月18日に、感染に配慮して規模を縮小する形で、「令和4年度公益社団法人長崎県看護協会通常総会」を開催いたしました。今年は、83名の事前申し込みと7,788名の委任状による参加をいただきました。

会場参加の会員の皆様から、質問並びに協会運営に対するたくさんのご意見をいただきました。いただいたご意見は理事会でも協議し、協会運営にしっかりと活かしてまいります。なお、提出議案についてはすべて承認されました。

また、令和2年度から2年間にわたり、特別委員会「長崎県看護協会あり方検討委員会」を設置し、検討を進めてまいりました。この度、委員会から、提言を含めた報告書の提出がありました。それを受け、会員に対する提言内容の公表、提言内容に対する具体的な取り組み方について理事会で協議いたしました。これについても随時、会員の皆様にお伝えしてまいります。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックへの対応は3年目を迎えました。この間、ウイルスは変異を繰り返し、第7派に突入しています。皆様方が緊張の連続の中で、それぞれの職場において最善の対応にあたってくださっていることに感謝と敬意を表します。本会としても、医療現場の状況をふまえ、看護職の支援につながるような活動を推進していきたいと思っております。私も理事として3期目に入りました。重点目標1.「地域包括ケアを支える看護の役割推進」2.「健康で安全に働き続けられる職場づくりの推進」3.「質の高い看護実践を支える生涯学習の推進」にしっかりと取り組んでまいりますので、会員の皆様方の忌憚のないご意見等お寄せいただきますようお願いいたします。明るい未来に向かってともに進んでまいりましょう。

令和4年7月31日

おめでとうございます

受賞(章)者一覧

令和3年秋の叙勲 瑞宝単光章…………… 貞 方 三枝子

令和3年度公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰 …… 松 尾 明 子

令和4年度 日本看護協会会長表彰…………… 勝 野 久美子
山 田 久美子

令和4年度 看護事業功労者知事表彰…………… 久 米 春 代
長 岡 清 子
馬 場 直 美

令和4年度 長崎県看護協会会長表彰

洗 川 喜咲子(長崎リハビリテーション病院)
荒 木 眞理子(長崎みなとメディカルセンター)
碓 由美香(佐世保共済病院)
石 垣 俊 子(昭和会病院)
井 手 しげ子(長崎みなとメディカルセンター)
大 町 多香子(長崎みなとメディカルセンター)
尾 崎 和 子(長崎大学病院)
川 上 千賀子(佐世保市総合医療センター)
川 田 昌 輝(松岡病院)

三職能合同交流会

基調講演

「これだけは知っておきたい新型コロナウイルス感染症 3年間の取り組み」

講師:長崎県福祉保健部感染症対策室 室長 長谷川 麻衣子先生 (医師)



合同交流会の様子



通常総会の様子



名誉会長
山口 ミユキ

広報委員より

6/18(土)に令和4年度長崎県看護協会通常総会が開催されました。感染対策のため参加人数を制限されていましたが、これまでの総会のような活気が戻っていました。午後からは三職能合同交流会が開催されました。まだまだ参加できるような交流会の開催が少ない中、貴重な時間を過ごすことができましたと思います。

城谷 智子 (みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家)
進藤 徳子 (長崎大学病院)
高崎 優子 (長崎みなとメディカルセンター)
永田 嘉代美 (佐世保市総合医療センター)
野口 孝子 (長崎大学病院)
野原 昌子 (佐世保共済病院)
橋本 久子 (長崎大学病院)
馬場 郁子 (JCHO諫早総合病院)
古田 美佐子 (佐世保市総合医療センター)

松尾 洋子 (株式会社こびっと訪問看護ステーション美輪)
森 孝子 (市立大村市民病院)
山見 由美子 (長崎大学病院)
吉田 恵理子 (長崎大学病院)
吉野 尚子 (佐世保市総合医療センター)

※五十音順、()内は推薦時点での勤務先です。

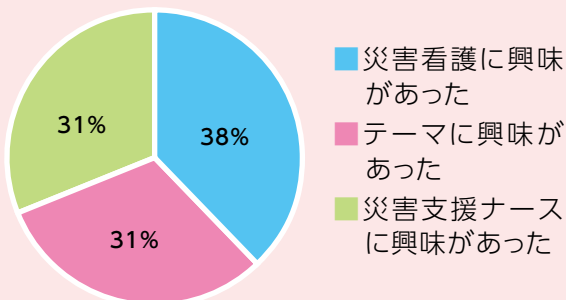
災害支援ナース交流会を開催しました!!

2022年5月28日(土) 13:00~16:30に「みんなで学ぼう災害看護～長崎県のコロナ禍における災害支援ナースの役割～」のテーマでオンラインにて災害支援ナースの交流会を開催しました。講師は「コロナ禍における災害時の避難所での感染対策について」藤田利枝氏(長崎県県央保健所長)で、避難所対応の基本とコロナ禍における避難所での感染予防対策について具体的な例を用いての講義内容であり、実際の避難所支援をイメージすることができました。次に「長崎県の土砂災害における避難所運営について」今村圭子氏(鹿児島大学保健学科客員研究員)では、GIS(地理情報システム)をもとに諫早市の本明川での地形から防災を考えることができました。またHUG(避難所運営ゲーム)やクロスロードなどのゲームをもちいて防災に対する意見交換をすることができました。オンライン開催2回目でしたが災害支援ナース未登録者の参加も多くみられ災害への関心の高まりを感じることができました。

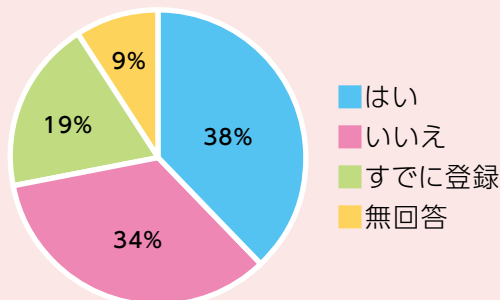
参加者:36名(災害支援ナース登録者8名、未登録者28名)アンケート結果、参加者の声より

- ・非常食の紹介は実際に作り、試食され感想を聞けるのはわかりやすく良かったです。
- ・GISの地図表記は参考になりました。
- ・長崎県看護協会からの災害派遣ナース実際の場面など知りたかったです。

研修参加の動機



災害支援ナースに登録しようとしていますか



長崎県県央保健所
所長 藤田 利枝 氏



鹿児島大学保健学科客員研究員
今村 圭子 氏



HUG(避難所運営ゲーム)

今後の
研修会予定

災害支援ナース育成研修 [実務編]

2022年12月3日(土) 9:30~16:30

申込期間:2022年10月1日~10月10日 災害支援ナース登録者は受講料半額

詳しくは、看護協会ホームページにて研修のご案内をご覧ください。

あなたも
災害支援ナース
に登録しませんか

長崎県の災害支援ナース登録者数:79名(2022年8月17日現在)
登録者数の目標は120名!! まだまだあなたの力が必要です!!
この研修を受講して、あなたも災害支援ナースに登録しませんか??
保健師・助産師・看護師・准看護師全ての看護職の方が対象です

文責:災害看護委員会



2022

看護への道フェア

高校生	100名
中学生	17名
保護者	21名
その他	12名
計	150名

看護の魅力発信を目的に中・高校生や保護者、教育への看護情報提供の場として参加型のイベントが「2022看護への道フェア」として8月19日、ながさき看護センターで開催されました。

新人看護師とのふれあいコーナーでの血圧測定



高校生5人ユニフォーム試着体験



特定行為看護師によるデブリードマン体験



救急救命 AED



進路相談



高齢者模擬体験



親子で試着体験



災害看護



助産師の紹介



フライトナース



手洗い研修



新人看護師とのふれあいコーナー



(アンケートより)

- ・充実した時間を過ごせました。ありがとうございました。
- ・進路相談などで、分かりやすいようにていねいに教えて下さったので、すごく良かったです。

保健師の紹介



地区支部だより



各支部の活動やお知らせをお届けします。



県南支部 支部長 糟谷 操子

この度、県南地区理事(支部長)に就任いたしました、糟谷です。微力ではありますが、運営委員、委員会の皆様のお力を借りながら、事業運営に努力して参りたいと思います。旧運営委員・委員の皆様、本当にお疲れ様でした。そして継続される委員の方、新しい委員の方、会員の皆様が現場で活かせる事業内容となりますよう、県協会と連携しながら委員一同で頑張っていきたいと思っております。

先般5/14に2年ぶりの看護の日事業として、浜町ベルナード観光通において看護の日パネル展を開催しました。感染対策を第一に考えての展示会という形式に温かいお言葉を頂き、将来は看護師を目指したいという声も聞かれ、種をまく事もできました。7/2には看護研究研修会、8/18には夜間研修会を開催し、受講者の皆様から高評価を得ました。8/20には『自施設における入退院支援センターの現状および課題』をテーマに施設代表者交流会を開催し、現場が抱える課題等を知る機会となりました。



県央支部 支部長 中尾 理恵子

益々新型コロナウイルス感染症拡大は激しく現場で働いている皆様に心より感謝申し上げます。6/25の支部会員集会・拡大委員会を開催し委員の再編成をしました。私は2期目の支部長を務めます。

5/14に「看護の日 ザ・いさはや」を開催しました。長崎医療センター・高度救命救急センターの里吉拓海さんにより「災害・救急看護の最前線」と題し講演して頂きました。バザーや妊婦体験、老人体験等も感染防止に気を付け地域の皆様や看護学生、看護職に色々な資格の看護師や働き方を広くご紹介でき、好評でした。7/9は施設代表者会議を実施し「会員と協会の連携について」をGWで行い、多くの意見交換ができました。課題につきましては理事会に提出していきます。なお、地域的問題等により雲仙地区と島原・南島原地区の統合はしないと運営会議で決めました。また会員の負担軽減のために支部事業のスリム化も進めていきたいと思っております。



県北支部 支部長 福田 由美子

県北支部支部長に就任致しました福田由美子と申します。県北支部では、オンラインによる研修が主流となってきており、5月のフィジカルアセスメントの研修も集合研修を予定していましたが、新型コロナ感染の拡大状況によりオンライン開催となりました。当初はオンライン開催に慣れておらず、戸惑う面もありましたが、講師の先生方や委員の皆様のご協力のもと有意義な研修会を開催することができました。

また、「看護の日」記念行事もオンライン開催とし、在宅看取りについてのご講演、感染対策についての動画配信を行いました。

6月には県北支部報告会もオンラインで開催し、1年間の活動についての報告会が行われました。コロナ禍の中、中止になったイベントもありますが、各委員工夫を凝らしながら研修や交流会などの活動を行っていくことができました。感染状況により研修スタイルを変えなければいけない大変さはありますが、充実した内容を送れるよう今後も取り組んでいきたいと思っております。





下五島支部

支部長 岡 知美

下五島支部では、今年度10名中5名が新メンバーとなりました。気持ちを新たに皆さんと力を合わせて研修開催やボランティア協力などの活動を行っていききたいと思います。「救急の日」で「まちの保健室」をタイアップ開催予定でしたが、COVID-19の感染拡大により残念ながらイベント自体が中止となってしまいました。なかなか催しができない状況が続いていますが、状況が落ち着き開催される際には、協力していききたいと思います。

今後は、Zoomによる離島就業看護職員研修を10月に開催予定です。調整を行い、できるだけ多くの方に参加して頂けるよう計画していききたいと思います。今後ともご指導、ご理解、ご協力お願い致します。



上五島支部

支部長 中尾 由香

今年度より上五島支部長を仰せつかることになりました、中尾由香と申します。総会・理事会等に参加する中で協会活動内容の多さ・深さに圧倒し、重責を担い身が引き締まる思いです。本部とこの上五島支部の架け橋となり情報伝達していくよう努めていききたいと思います。研修・行事等が出来ないこの数年間でしたが、看護の日イベントとして5月にまちの保健室を開催したことで、地域の方とのふれあいの大切さを改めて感じました。今年度は定期的に開催する予定にしています。

また離島就業看護職員研修として「慢性腎臓病(CKD)について」諫早総合病院・飛田光太郎先生の研修会を予定しています。毎月の運営委員会を通し、委員の方と協力をしながら活動していききたいと思います。



壱岐支部

支部長 鋸崎 くみ子

壱岐支部では、7/30(土)に離島間通配信研修を計画しておりましたが、COVID-19の感染拡大、それも日々過去最大数を更新する勢いであり、やむを得なく延期することとなりました。【「たべたくない」への看護～食欲不振へのアプローチ～】というとても興味深いテーマであり、感染が落ち着けば再度ご案内させていただきます。医療現場では休日無く、終日発熱対応に追われている状況ですが、支部便りが届くころには少しでも感染状況が落ち着いてくれば良いと願っています。

5/8(日)は壱岐市の大会の1つである春の市(八日市)が3年ぶりに開催されました。コロナ前と比べると若干人出は少なく感じましたが、私たちが久しぶりにまちの保健室で、血圧測定、健康相談、グッズの配布を行うことが出来ました。

今後もwithコロナで、地域行事への参加や研修計画など、皆様のお役に立てるよう活動に取り組んで参ります。



対馬支部

支部長 武末 浜枝

第7波が対馬にも脅威をもたらしている今日この頃ですが、支部としては3年ぶりにまちの保健室としての活動を再開することができました。

6月12日(日)厳原町で城下町ウォーキング大会が実施されました。こちらもコロナで中止続きになっていましたが、再開されました。いつもはじっくりお話を伺う所ですが、今回は軽い声掛けとグッズをお配りする形で実施させていただきました。

ついで、6月26日(日)国境マラソンでの健康チェックブースにお邪魔しました。国内の走者が島外からも沢山見えられ大盛況でした(*´▽`*)。久々に来島されたランナーと再会し、ブース内で労いの言葉を頂き、感動でした。猛暑の中、本当にお疲れ様でした。

今後も秋には2つのウォーキングイベントへお邪魔して健康チェック等させていただく計画です。普段とは違って、イベントへ参加して元気を分けて頂けることを期待してま～す。



病院 紹介

社会福祉法人十善会 十善会病院



当院は、長崎市中華街近くの十善寺地区で約150年間にわたり地域に密着した医療・看護を提供してきました。令和3年6月に建物の老朽化に伴い淵町の旧長崎市成人病センター跡地へ新築移転、近隣には淵神社や稲佐山に登る長崎市ロープウェイ乗り場などがあります。

一般94床、地域包括ケア94床で「救急から在宅まで」の病院理念に則り、二次救急輪番と地域脳卒中支援病院の役割も担っており、「断らない救急」を目指しています。訪問看護ステーション・健診センターも併設し、社会福祉法人の使命である生活困窮者の医療を受ける機会の確保、無料・低額診療の提供も行っています。

患者様へ安全で信頼のできる医療・看護を提供するため、専門職としての知識・技術を深めるとともに、「患者・ご家族様一人ひとりの心に寄り添った看護」を看護理念として、日々業務を行っております。このたび新たな地域への移転に伴い、超高齢化社会に対応できるよう地域包括ケア病床を増床しチーム医療の充実を図っています。患者様が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、入院前から在宅まで切れ目のない医療・看護を展開していくため職員一丸となって頑張っています。

正面玄関



コロナ禍の全体研修



新人研修
頑張っています



救急室年中フル稼働



脳外科多職種カンファ



手術室男性陣の中で
嬉しそうな節長さん



< 御意見募集中 >



お問い合わせ用QRコード

看護協会あるいは会報誌への御意見・御要望をお気軽にお寄せ下さい!!

お問い合わせ

- ① QRコードを読み込む
- ② 必要事項とお問い合わせ内容を記載
- ③ 確認画面をクリック

